

平成28年第1回燕市議会定例会

一般質問日程表

質 問 日		質 問 者			質 問 方 式	
					一 括 質 問	一 問 一 答
3月7日(月)	午後	1	渡邊 雄三 議員		○	
		2	タナカ・キン 議員		○	
		3	大原 伊一 議員	○		
		4	山本 知克 議員		○	
8日(火)	午前	5	樋浦 恵美 議員		○	
		6	埴 豊 議員		○	
	午後	7	堀 勝重 議員		○	
		8	大岩 勉 議員		○	
		9	白井 文雄 議員	○		
9日(水)	午前	10	土田 昇 議員		○	
		11	渡邊 広宣 議員		○	
	午後	12	柳川 隆 議員		○	
		13	藤井 秀人 議員		○	
		14	齋藤 信行 議員	○		
		15	小林 由明 議員		○	
10日(木)	午前	16	山崎 雅男 議員		○	
		17	吉田 勝利 議員		○	
	午後	18	宮路 敏裕 議員		○	
		19	長井由喜雄 議員		○	
		20	山崎 光男 議員		○	

平成28年第1回燕市議会定例会「一般質問表」

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
1	渡邊雄三 (一問一答方式)	1. 東日本大震災被災者支援について	(1) 被災者に対する今後の支援の在り方について	①東日本大震災被災者(避難指示区域内・外)の推移と避難者の健康状態について伺います。 ②燕市での被災者支援のこれまでの実績と現状について伺います。 ③自主避難者に対する、災害救助法に基づく住宅の無償提供を2017年3月末で打ち切りが決定したことを踏まえ、今後、燕市として避難者の支援をどのように考えているのか伺います。
		2. 仮称116号バイパスについて	(1) 仮称116号バイパス着工へ向けての今後の対応について	平成27年6月県議会において一般質問で仮称116号バイパスの着工についての質問がありました。その時の答弁で、担当部長より「着工の時期は未定となっているが、国道116号の渋滞状況については、充分認識していることから、吉田バイパスの早期事業化に向け、道路管理者である国に対して、地域と連携して働きかけていく。」との答弁がありました。 ①その後、どのような検討がされたのか現状認識について伺います。 ②今後の課題を伺います。
		3. 高齢者の安心・安全について	(1) 高齢者の交通事故ゼロを目指して	①近年の高齢者の交通事故の発生状況と加害者数・被害者数の内訳について伺います。 ②高齢者の交通事故の特徴や発生傾向について伺います。 ③高齢者運転免許証返納支援事業の状況と今後の取り組みについて伺います。 ④高齢者対策を織り込んだ交通事故ゼロへ向けての対策について伺います。
2	タナカ・キン (一問一答方式)	1. 燕製金属酒器購入支援補助金について	(1) 金属酒器購入実績について	「金属酒器乾杯運動」普及事業は地方創生先行型交付金上乘せ分を活用した事業で、金属酒器購入補助金は全体の事業費1,000万円のうち700万円であった。 ①広報つばめ11月15日号の表紙で飲食店に金属酒器を使ってみませんかと呼びかけていたが、購入実績はどうだったのか。 ②対象の飲食店は何店舗で、協力いただいたのは何店舗だったのか。
		2. 燕市観光モニュメントについて	(1) モニュメントの修繕について	市長は1月27日、新年会の挨拶の中で私たち議員にモニュメントを修繕すると話したが、あまりに唐突であり不自然さを感じた。 ①このモニュメントは、当時考えられない不備が相次ぎ、市長をはじめ関係職員の懲戒処分にも発展し、燕市にとって大きな社会問題ともいえるものであった。私は平成19年12月定例会から平成20年9月定例会まで、4度続けてモニュメントに関する質問を行っている。鈴木市長や担当部課長は、当時の議事録を確認した上で今回の判断に至ったのか。

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
2	タナカ・キン (一問一答方式)		(2) 業者の選定について	<p>モニュメントは、燕の金属加工技術をアピールするのが目的であったが、なぜか金沢の業者が製作し、それを私が指摘すると燕の技術では難しいと答弁した。この発言は金属加工産地としての燕市を冒とくするものであった。</p> <p>①現在、工事中であるが、市内業者で修繕可能なのか。 ②工事費について。 ③指名入札か、随意契約によるものか。</p>
			(3) 照明器具について	<p>①ライトアップ用の照明器具が全く使われていないが、理由について。 ②使われないなら、他へ移設して有効活用されてはどうか。</p>
		3.(仮称)観光交流センター等整備運営事業について	(1) 道の駅的施設について	<p>予定地は産業史料館の前の三角形の土地で、ここに道の駅的施設を建設する事業である。</p> <p>①大型観光バスは来てくれると考えているか。 ②団体客は産業史料館を見学してくれると考えているか。 ③施設内のレストランを利用してもらえると考えているか。 ④農産物の直売所で団体客が農産物を買うと考えているか。 ⑤燕三条地場産業振興センターが、3月25日道の駅としてオープンするが、燕三条地場産業振興センターに立ち寄った観光バスが、こちらに来てもらえると考えているか。</p>
			(2) DBO方式による公募型プロポーザルについて	<p>①設計・施工また運営・維持管理を民間事業者に委ねるとのことだが、大丈夫なのか。問題点はどこか。</p>
3	大原伊一 (一括質問方式)	1. 合併10年新たな都市作りへ挑戦の始まりである	(1) 新たな10年に向けて更なる行財政改革推進について	<p>①燕市公共施設等総合管理計画の進捗状況について、鈴木市長は、人口減少対策を全国に先駆けて進めてきて、予想よりも減少幅が低くなったものの減少傾向には、変わりなく、公共施設の統廃合は、避けて通れない大きな政策課題であると言わざるをえないが、市長の公共施設の統廃合に向けた基準・方向性は、あるのか。 ②幼児教育施設の統廃合に伴う民営化により、保育時間の柔軟性などサービスの向上により保護者から大変喜ばれている「きららおひさまこども園」の成功事例をとらえると市内の保育園幼稚園の民営化の方向が見えてきていると思うが、今後の幼児教育保育施設の在り方について伺う。民間で成功した事例を市政に反映していく必要性を感じるが見解を伺う。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
3	大原 伊一 (一括質問方式)	2. 燕三条地場産業振興センターの行っている燕三条ブランドについて	(1) 海外において誤解を招くロゴマーク表記について	①燕三条地場産業振興センターが海外見本市に出展するとロゴマークの下部に表記されている Organic Lifestyle Creations のチラシや看板を見て多くの来場者は、日本食ブームもあり日本の高品質な有機農産物の出店と思い訪れるが、並んでいるのは工業製品のみ。大半の来場者は、「騙された」看板で客を集めて信用できない工業製品を売りつけている団体とされている悪循環、海外で燕三条ブランドのロゴマークを使うと信頼が無くなるのではないかと心配の声が上がっていると聞いているが、市内関係者から担当部局に話は届いていないのか。同時に市内から出店している会社に影響は無いのか。長くこの様な状態を続けるより見直しを提案しては、如何か。
		3. 農業政策について	(1) 商工観光部と農林部の統合について	①農林部、商工観光部の新年度からの統合という方向性が示されたが、それによって新たな方向性が見いだされているのか。今年度予算に特徴が現れているのか。 ②燕市農業の情報発信力を高め、産業とマッチングできる体制作りが不可欠と思うが考えはあるのか。
			(2) ふるさと納税返礼品について	①ふるさと納税でお米の返礼品が多く出ていると聞いているが、最新のお米の返礼品割合ならびに今年度の見込みについて伺う。 ②せっかくのふるさと納税で燕市の米が返礼品として多く利用頂いているが、燕市の農家の所得向上に繋がっているのか。
4	山本 知克 (一問一答方式)	1. 生活困窮者自立支援について	(1) 支援結果と課題について	生活の困りごと相談で中高年の再就職が大きな問題となり、健全な生活を維持するため「生活保護」前のセーフティネットとも呼ばれているこの制度がある。主に、失業保険切れなどで困っている人や、低い年収で生活に困っている人を支援する制度で「失業保険切れ＝困窮者」とならないよう窓口でのきめ細やかな対応が望まれているが、現状や課題について伺います。 ①昨年度より実施している事業の中で、就労支援を中心に伺います。 1)窓口で相談を受けているが問い合わせや人数の変化はどうか伺います。 2)実際に就労につながった件数はどうか。 3)就労準備支援事業(いわゆる「中間的就労」)就労支援は有ったのか。 4)就労準備支援事業に対してなんらかの生活支援に関わる支給はできないものか。 ②国が示している必須事業の他、任意事業も多いが今後どのような支援または事業を考えているか。 ③今後の広報手段やPR活動について 1)市のホームページに情報の掲示やリンクが無いが。 2)制度案内のパンフレットの設置場所やパンフレットの改定について。

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
4	山本知克 (一問一答方式)			<p>④地元の民生委員より、公園のトイレやお宮・お地藏様等にパンフレットや連絡先を配置すると、公共施設に来れない人たちにも行き渡るのはどの提案もあるがいかがか。</p> <p>また回覧板の利用についてはどうか。</p> <p>⑤制度の説明を受けたいが、実際には勇気を出して申請までたどり着けないとの話も聞く。電話での相談に限り初回相談や案内を「時間内・時間外」を問わず受け付けてはどうか。</p>
		2. 生活保護について	(1) 現状や課題について	<p>人生は思わぬところでさまざまな不運に見舞われることがあります。</p> <p>お金が稼げず、そのせいで生活が苦しくて悩んでいる方々に生活保護という制度を知ってもらい、少しでも安定した生活が送れるようになってもらえたらと願っています。</p> <p>よりわかりやすく、生活保護に関する情報をほしい方に提供し参考にして頂ければと考え次の点について伺います。</p> <p>①自助、互助、扶助の観点から安易に生活保護をと考えないこと。車を所有しているために拒否されているとの話も聞く。車を手放したりしたら、お金が手に入ったとしても、生活が立ちゆかないとかたくなに信じてしまっている。</p> <p>通勤や求職活動のために、車の使用が認められている事例も全国にはあるようだが、保護を受けながら使用されている人はいるのか。</p> <p>②私の住む地域でも、田んぼや畑があるからと事前相談時に断られたとも聞きます。簡単に売れるわけでもなく、収入になるわけではありません。住宅以外に農地があっても食べられるわけでもないとも聞く。生活保護を受けつつ、資産の活用（田畑を売り払うなど）を行い、後で売れた代金で生活保護費を返すことも、認められているようだが保護を受けられている方はいるのか。</p> <p>③借金を理由に生活保護を断られるが、理由は扶助費からの返済が認められていないからだと聞く。個人的な借入などでも自己破産が条件になるのか。事前相談時に借金があっても断られても、申請すれば受理されると思うが、保護を受けておられる方はいるのか。</p> <p>④就学援助では義務教育までの扶助が認められている。高校までは認められていないが、教育訓練や車の免許取得費他、高等学校就学費などの生業扶助があるが扶助されている方はいるのか。</p> <p>⑤就労をしていますが、最低生活費に届かず扶助を受けておられる方はいるのか。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
4	山本 知克 (一問一答方式)			<p>⑥あくまでも個別事例での相談になるが、制度の説明会は行われているのか。ネット上では見かけるがマニュアルは存在するのか。大切なことは困窮する生活ラインからの引き上げばかりではなく、そこから自立を託し生活保護からの脱却を目指すことを目標としているが受給者に対するフォローは。</p> <p>⑦間違っても生活保護を受けさせてしまったのならお金を返してもらおう手続きをすればすむことと思います。間違いにより、生活保護を受けた場合「医療費扶助」の利用により受診した部分について、本来「皆保険制度」により「一割～三割」負担分の本人の実費負担が、全額の返納の必要があると伺うが、過去に返還請求はあったのか。また詐欺行為にもあたる不正受給による摘発はあったのか伺います。</p>
5	樋浦 恵美 (一問一答方式)	1. 男女共同参画について	(1) 第4次男女共同参画基本計画を踏まえた取り組みの推進について	<p>男女共同参画社会基本法第13条の規定に基づく、第4次男女共同参画基本計画が昨年12月25日に閣議決定されました。</p> <p>①昨年8月27日に成立した「女性活躍推進法」第15条の規定に基づき「特定事業主行動計画」(女性活躍のための計画)を、本年3月末までに全ての地方公共団体が策定する必要があるとしています。また、301人以上の民間事業主においても「事業主行動計画」の作成が義務付けられていますが、燕市の策定状況について伺います。</p> <p>②政府は、2020年までに指導的地位に女性が占める割合を30%目標としています。燕市における女性職員の管理職への登用、各種審議会等や燕市防災会議の女性委員の割合の現状と方針について伺います。</p> <p>③男女共同参画を推進するための拠点「男女共同参画センター」の整備について伺います。</p> <p>④次期策定される男女共同参画計画「第3次燕市推進プラン」には、男女共同参画社会の実現のための様々な取り組みを行っていただきたいと思いますが、市の考えを伺います。</p>
		2. 子どもの読書環境の充実について	(1) 「セカンドブック事業」の導入について	<p>①燕市では、絵本を介して赤ちゃんや保護者が心のふれあう時間が作れるよう、4ヶ月検診時に絵本を手渡しで贈る「ブックスタート事業」を行っています。この「ブックスタート事業」に続き「セカンドブック事業」として、学校教育のスタートとなる小学1年生を対象に、心の宝となる本を贈る事業として提案したいと思いますが、市の考えを伺います。</p>
			(2) 学校司書の配置について	<p>①平成26年度から学校図書館司書業務嘱託員を配置していますが、今後、専任の学校司書を配置する考えはあるのか伺います。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
6	埴 豊 (一問一答方式)	1. 合併10周年を迎えて、これからの「まちづくり」にむけて	(1) 財政問題について	①合併10年を迎えこれからの地方交付税の見通しと財政調整基金との関係について。 ②臨時財政対策債にたよる財源補てんは今後継続できるのか。 ③「ふるさと納税」による財源の活用の実績と今後の展開について。
			(2) 行財政改革について	①各種補助金の交付状況と検証は正しく行われているのか。 ②交付基準の透明性は保証されているのか。
			(3) 新たな行政課題について	①「空き家」対策問題や地方の人口流失問題などにより不動産価格の下落がとまらない現実により土地、建物などを行政に寄付寄贈が増加することが予想されるがこれにいかに対応すべきか。 ②寄贈された物件の活用方法を庁内横断的に考える機関の設置を。
			(4) 教育問題について	①高校受験の方式変更から2年経ち、現場の状況について。 ②中学校での対応に変化は生じたのか。 ③中学3年の2学期以降の変化について。
7	堀 勝重 (一問一答方式)	1. 少子化対策について	(1) 少子化対策の今後の取組みについて	①少子化の要因としては、男女の出逢いの場が少ない、働く女性が増えたことによる晩婚化、核家族化、育児と仕事の両立が難しい、夫婦での収入が少ない、大学や専門学校等の学費が多額であるなど、様々なことが考えられる。このようなことについてどのように捉えているのか、市の考えを伺う。 ②少子化対策の今後のビジョンについて、市の考えを伺う。
		2. 指定管理について	(1) 体育施設の管理運営について	①現在、体育施設の概ねは「燕市体育協会・ミズノグループ」に委託され管理運営がなされているところがあります。ミズノグループならではのパイプにより、有名選手を招待しての様々な事業の展開や民間ならではのノウハウにより効率的な管理運営がなされていることは、本市にとって大きなメリットであると捉えているところがあります。しかしながら、利用者の話しでは管理運営面において、以前に比べ利用するにあたり不便を感じると言った声が私の耳に少なからず入ってきております。そこで、施設の管理及び運営の現状把握について伺う。 ②指定管理に移管する際の、日常の管理運営面での引き継ぎ内容について伺う。
		3. 安心・安全なまちづくりについて	(1) 防犯対策について	①昨年の3月議会において防犯カメラの設置状況について質問したところ、防犯カメラ未設置施設が園では26ヶ所、小学校では3ヶ所、中学校では1ヶ所であり、これらについては設置の方向で検討していきたいとの答弁でありました。その後の防犯カメラ設置について、進捗状況を伺う。

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
8	大岩勉 (一問一答方式)	1. 市長の政治姿勢について	(1) 県央基幹病院整備に向けた体制を問う	<p>① 県は開院時期を、平成 30 年代の早い時期としているが燕市として 1 年でも早い開院を目指すための、行動を立ち上げる事が「今」必要ではないかと思われる。対策を伺う。</p> <p>② 県は地元理解を図るために、地域住民への説明会を開催するとあるが、予定を把握され連携はとれているのか伺う。</p> <p>③ 燕労災病院の再編統合・県立吉田病院の医療提供の今後を燕市民は大変危惧しているが県や関連する機関との取り組みについて伺う。</p>
		2. 選挙権年齢引き下げについて	(1) 選挙管理委員会委員長の職責と委員長としての取り組みを問う	<p>① 委員長の事務執行職務権限は特別重きにあります。投票率向上としての考え、及び施策と国内の投票率を見たとき 20 代は 3 割しか投票していない現状である。燕市の現状を精査した時、18 歳選挙権への啓発課題をどの様に考えておられるのか伺う。</p> <p>② 委員長は市内の高校などに、教科書と違う生きた政治の指導をどの様に今までされてきたのか。総務省は高校生向け副教材・教員向け指導資料の配布をされたことを把握されているか伺う。</p> <p>③ 委員長は投票所の再編計画は考えているのか。若者が投票に参加できる環境作り設置について伺う。</p> <p>④ 燕市で投票率の一番低い投票所はどこで、その原因を確認し改善するための対策を考えているのか伺う。</p>
		(2) 高校教育での改正公選挙指導について問う	<p>① 生活と政治のつながり課題などの指導、そして教育現場の中立は守られているのか伺う。</p> <p>② 燕市内の高校教育現場では模擬投票の授業や市議会の傍聴などは計画され指導されているのか伺う。</p> <p>③ 選挙年齢引き下げによる、新たな有権者に対する制度指導伝達はどの様にされているのか。さらに投票率の低下が懸念されるが、18 歳以上の「高校生以外」の指導はどの様に考え進め対策をされているのか伺う。</p>	
		(3) 明るい選挙出前授業について問う	<p>① 燕市として小学校では初めての「明るい選挙出前授業」を昨年 12 月に開催されたが、どんな内容で結果はどのようであったのか伺う。</p> <p>② 今後、他小学校でも開催実施の予定はあるのか伺う。</p>	
		3. 中学校の部活動について	(1) 中学校部活動の顧問指導者の対応について問う	<p>① 少子化で生徒数の減少による学級数減もあり、部活動においても専門技術指導出来る教師の確保は年々厳しい状況であると思われるが考えを伺う。</p> <p>② 社会体育科指導に移行されるのではないかと。運動部などは体育協会とも連携を取り、「OB・OG」の協力要請を積極的に取り入れることが大切ではないか伺う。</p>
		(2) 勝利優先のため市外からの生徒募集状況を問う	<p>① 部活動の本来の目的を超えて、勝利成績優先のため市外から生徒募集されていることはないか伺う。</p> <p>② 入学前に市外の中学校に生徒が越境入学をするような事実はないか伺う。</p>	

発言の順序	発言者	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
9	白井 文雄 (一括質問方式)	1. 水道行政について	(1) 水道事業更新対策に係る新浄水場建設に伴う規模決定の計画諸元について	<p>①水道事業更新対策特別委員会での参考資料中、給水需要の予測や整備計画が示されているが、今年度末の有収水量はどれくらいの見込を考えているのか。また、これに係る有効水量と無効・無収水量の見込についても伺う。</p> <p>②受水費支払いの項目があるがこれは何を意味しているのか。</p> <p>③新浄水場の建設候補地の見込はどうなっているのか。</p> <p>④広域水道事業についての考え方は。</p> <p>⑤実施設計に係る浄水施設能力はどのような方法で決定する予定か。最大給水量と水利権量についての関連性は考えられないか。また、実施設計の今後について伺う。</p> <p>⑥新浄水場建設に伴うバックアップはどう考えていくつもりか。</p> <p>⑦現浄水場の耐震性はどうか。</p> <p>⑧会計処理について、ろ過砂や薬剤の購入、棚卸資産や有形固定資産、内部留保資金はどのように経理されているのか。</p>
			(2) 水道料金改定について	<p>①他市村からの受水料金はどのように調整を図るのか。</p> <p>②市からの繰入金は必要としないのか。</p>
			(3) 今後の流れについて	<p>①今後、各地区での地元説明会を開催して行くが、開催回数や開催場所についてはどのように進めて行く考えか。</p>
10	土田 昇 (一問一答方式)	1. 県央地域医療の問題点について	(1) 県央基幹病院の建設について	<p>建設用地も決定して「平成30年代のできるだけ早い時期の開院」に向けて、今後新潟県も最大限の努力をされると思うが4市町村が示した県央基幹病院の早期整備に係る要望書に従って一般質問を行います。</p> <p>①救急患者の搬送に優れた新たなアクセス道路を整備すること、として要望されているが、燕市としても具体的に道路の法線の希望を示していくべきと思うが今後どのように対応するのか伺う。</p> <p>②県央基幹病院建設に伴う周辺地域の冠水対策に万全を期すこと、としているが新潟県の考え方や方法について確認したり、燕市としての考え方も示していくべきと思うがその点について伺う。</p> <p>③候補地は決定しているが、地元説明会については今後どのように計画されているのか。県の方法を確認する必要があると思うがどのように考えているか伺う。</p> <p>④燕労災病院の跡地利用について地元燕市と誠意を持って協議すること、としているが燕市として地元住民の考え方を参考にして、県と対応すべきと思うが地元との話し合いの計画はどう考えているか伺う。</p> <p>⑤圏域市町村間の2次救急医療体制の均衡保持を考慮し、県立吉田病院の機能拡充と早期改築を行うこととしている。県は平成28年にはその検討に入ると明言しているが、その内容について市民に報告していくべきと思うが、今後の対応について伺う。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
10	土田昇 (一問一答方式)	2. 国保税の問題点について	(1) 国保財政の内容について	①1月27日の議員協議会と2月5日の国保運営協議会の説明では、今年度分の赤字額の7千万円は一般会計からの繰り入れで対応して、平成28年度に不足が見込まれる2億2千万円の内、国保加入者の引き上げが7千万円、残りの1億5千万円は一般会計からの繰り入れで対応すると報道され、そのように承知していますが、平成26年度末で基金残高が1,700万円余と、この点についても報道されました。平成30年の「広域化」までの見通しについてはどのように考えているのか伺う。 ②今回の引き上げで1人あたり5,000円前後と承知しているが「応益」の負担割合を引き下げる方法で検討すべきと思うが、そのような対応はできないか伺う。 ③人間ドックの補助金の増額について検討すべきと思うが、市長の見解について伺う。
		3. 介護保険の今後の対応について	(1) 第6期計画期間について	①平成29年度末までに100床の特養建設が計画されているが、早く対応しないと厳しい状況になると思うが、その点について伺う。 ②社会福祉法人の選定について、どのような方法で選択していくのか伺う。 ③特養の個室と多床室の関係についてどのように考えているか伺う。 (月額10万円以上の利用料金は厳しい所があると感じているが) ④現在の待機者の数について伺う。
		4. 定年退職者の再任用について	(1) 定年退職者の再任用の理由について	①再任用の基本的な認識について伺う。 ②再任用の全体の人数について伺う。 ③再任用の期間について伺う。 ④再任用の給与について伺う。 ⑤再任用の部長、課長は本会議で答弁するのか伺う。 ⑥再任用の県内の状況についても伺う。
		5. 国道116号線のバイパス問題について	(1) 県の認識について	①現状の取り組みと今後の対応、見通しについて伺う。
		11	渡邊広宣 (一問一答方式)	1. 政治姿勢について
		2. 新年度予算(案)について	(1) 新年度予算(案)について	①予算(案)の概要および主要事業の資料を概観すると、この3年同じような事業説明になっている。直近3ヶ年の各事業をどう評価しているか伺う。 ②第2次燕市総合計画に基づく3つの人口増戦略を念頭に施策構成されている中、産業面を最重要課題としているが、直近3ヶ年の結果と評価を伺う。 (次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
11	渡邊 広宣 (一問一答方式)	3. 社会的弱者対策について	(1) 子どもの貧困率について	③国民健康保険特別会計に新年度、緊急避難的に法定外繰り入れを行うが、今までの市長発言との整合性を伺う。 ①以前同質問をした時、具体的数値は把握して無いとのことだが、現況をどう認識し、対応を行っているか伺う。 ②母子(父子)家庭、収入別、学歴による諸指標をどのように捉えているか伺う。
			(2) 交通弱者対策について	①スワロー号、おでかけきららん号など市民の足として充実が計られているが、現況の問題点と具体的要望把握について伺う。
			(3) 児童養護の現状について	①燕市の児童養護施設の利用者の推移、利用実績がなければ燕市の対応策を伺う。
12	柳川 隆 (一問一答方式)	1. 教育行政について	(1) Jack&Bettyプロジェクトのことに ついて	総務文教常任委員会に所属している関係で Jack&Bettyプロジェクトの事業の一環としての小中学生を対象とした「英語スピーチコンテスト」(兼海外派遣選考)と9月19日に行われた親善大使、帰国報告会に出席しました。そこで感じた事は、どうもピンと来ないというか透明なバリアが目の前にあってこちらの胸に迫ってくるものがなく、この原因が自分自身でもはっきりせずとまどい気味の中、帰国報告会の最後に引率された中学の英語の女の先生の話しを聞き、その原因の一端が分かったという次第です。その先生は「自分は英会話というツールは持っているが、それを使って語る自分自身の中身が無いことに気づき愕然としました。」という話しをされました。 ①この引率された先生の感想を当局はどう思われるか伺います。 ②小学生には「英語スピーチコンテスト」の参加資格として「燕ジュニア検定」Bクラス以上の受験。中学生には通知表の五段階評価で平均が四以上を参加資格条件として付帯したらどうか伺います。
		2. 職員の定数について	(1) 職員定員適正化計画のことに ついて	10年前の合併時からスタートし、今年度末で終了する「職員定員適正化計画」は150名削減を目標とし、ほぼ計画を達成したとの事ですが、 ①目標150名にした根拠について伺います。 ②臨時職員はこの計画の対象外とのことですがこの10年の推移について伺います。 ③市民の多くの声を総合すると2/3の人は職員の数が過剰だと思っている現状を当局はどう思っているのか伺います。 ④この適正化計画は職員のみで策定されているが、外部の人からも策定に加わってもらった方が良いと思うがいかがか。 ⑤平成28年度中に策定予定の新たな計画はどのような目標になるのか伺います。

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
13	藤井 秀人 (一問一答方式)	1. 燕市の教育の展望について	(1) 幼児教育・義務教育のビジョンについて	①保育園の定員の充足状況もふまえて保育・幼稚園の更なる統廃合の予定はあるのか伺いたい。 ②燕市の義務教育の今後の展望について伺いたい。 ③小・中学校の統廃合の基本的な考え方と今後の予定について伺いたい。 ④教育施設内の冷房設置状況はどのようになっているのか伺いたい。
		2. 郷土の文化財と芸能保存について	(1) 文化財について	①燕市に国、県、市の文化財はどれ位の数があるのか伺いたい。 ②個人所有以外の文化財の管理はどのようにされているのか伺いたい。 ③地域で守るため、市より補助金を出して管理されている文化財はあるのか伺いたい。
			(2) 伝統文化、郷土芸能、祭事等について	①郷土芸能、祭事等で今後、保存していきたいと考えているものがあるのか伺いたい。
14	齋藤 信行 (一括質問方式)	1. 公有地の土地建築物の利用について	(1) 旧分水給食センターについて	①旧分水給食センターについては、西部給食センターが開業してからはそのままであり、宅地は3,115.02㎡であり建築物もそのままになっております。今後の利用方法についてはどのように考えているのか伺います。 (埋蔵文化財事業としてありますが)
			(2) 泉新市営住宅について	①泉新市営住宅の敷地については2,859㎡であり、住民も少なくなっています。敷地の管理も大変だと思いますが今後の方向性について伺います。
			(3) 旧中島保育園敷地について	①旧中島保育園敷地については所有者は大字中島が2,202㎡、西蒲原土地改良区が162㎡であります。建築物があった時はお年寄りのサロンなどとして利用もされていましたが、今は雑草の生い茂る土地となっています。今後の方向性について伺います。
		2. 大河津分水路について及び信濃川の決壊について	(1) 横田切れについて	①明治29年7月22日朝、十数日間降り続いた雨で信濃川が増水、横田村で信濃川左岸堤防が決壊して西蒲原以北一帯を泥の海に変えた。今に語り継がれる横田切れから120年、死傷者79人、流失家屋740棟、冠水荒廃田畑61,896haにも達した大水害でした。そこでお聞きします。燕市をおそった大水害「横田切れ」から120年を迎えるのに合わせ、国と連携して記念イベントを開くという事ですが、どのようなイベントになるのか伺います。 ②50年前の昭和41年4月23日「横田切れ」の決壊現場に地元横田の人たちが記念碑を建立した。左側の道路脇に高さ2メートル、幅60センチ、厚さ十数センチのみかげ石に「横田破堤記念碑」と刻んである。記念碑の裏面には「時は明治29年7月22日午前7時大洪水起こる。…」と細い文字で当時の被災の状況が刻まれ、120年前の大惨事を伝えているが、市内小・中学生の認識はどの程度なのか学校での授業についてお伺いします。 (次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
14	齋藤 信行 (一括質問方式)		(2) ハザードマップについて	①ハザードマップについては河川の決壊の場所によって水位が違うと思うが市の認識を伺う。
			(3) 今後須頃地区に作られる県央基幹病院について	①信濃川が決壊した場合、場所によっては新幹線、燕三条駅の線路上まで水位が上がると言われています。そこで県央基幹病院を須頃地区に建設されるのであれば、市長の方から県に対して水害に対応できる基幹病院であるようお願いしたい。それには中ノ口川の改修工事の早期実現も強く県に対して言っていただきたい。
			(4) 前の可動堰と河川敷について	①前の可動堰は残してもらいましたが、それらを含めた河川敷の今後の利用など方向性を伺います。
		3. 除雪について	(1) ドカ雪での除雪について	①今回のドカ雪で除雪について対応はどうだったのか今後の課題について伺います。
15	小林 由明 (一問一答方式)	1. 市民活動について	(1) 市民活動の活性化について	①自らのまちは自らが創るという観点からも、まちづくりに関わる様々な市民活動活性化の取り組みは必要だと考えている。市民活動の事業資金として、イキイキまちづくり事業助成金等の支援をおこなっているが、活動の継続性や発展性を考えるうえでは、補助金がなくても活動できるよう、団体の経済的自立も促進していく必要があると考えているが、市の考えはいかがか。
			(2) 市民活動と起業創業支援との結び付けについて	①社会的な要請はあるものの行政の手の及ばない課題について、市民活動がその解決に寄与している一面がある。社会的課題をビジネスとして解決する、いわゆるソーシャルビジネスやコミュニティビジネスの推進をどのように考えているか。
		2. 日本とふるさとつばめの歴史について	(1) 図書館運営について	①その時代その時代の人々の生活の様子や、地域の伝統行事、芸能文化、そして地域産業などに関わる映像資料を図書館において扱い、郷土の歴史として後世に残していく取り組みも必要と考えるがいかがか。
			(2) 学校教育における記紀の扱いについて	①市内小中学校の授業において、記紀の扱いはどのようになっているか。
		3. 農商工連携について	(1) 食のまちつばめの推進について	①これまでも農商工連携の必要性は述べられてきており、来年度から商工観光部と農林部の統合を進めていくという考えが示されているが、具体的にはどのような着眼をもって農商工連携を進めていこうと考えているのか。

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
15	小林 由明 (一問一答方式)			<p>②燕市の産業は、工業についてはカトラリーなどのテーブルウェアをはじめ、伝統工芸品の鋳起銅器、各種厨房用品等食に関わるものも多く、また農業においても大規模ではないものの優良で多様な食材を生み出す産地であり、このようにして見た時、燕市は包括的な食のまちという一面があると考えられる。</p> <p>農商工連携を進めていくうえで、燕市は食のまちでもあるという考えに立ち、そこから生まれる可能性をさらに引き出していくことも必要であると考えているがいかがか。</p> <p>③食に関わる各業種の活性化を目的に、交流会を開催できないか。</p>
16	山崎 雅男 (一問一答方式)	<p>1. 生まれ変わる大河津分水路の抜本的改修に向けた状況について</p> <p>2. 「燕はひとつ」の同一市内に固定電話で市外局番が必要なことについて</p>	<p>(1) 大プロジェクト工事の大河津分水路改修事業について</p> <p>(1) 同一市内での電話市外局番の解消について</p>	<p>①国土交通省北陸地方整備局が大河津分水路の改修工事に着手。 大河津分水路の抜本改修総事業費 1,200 億円。事業期間平成 27 年度から平成 44 年度まで 18 年間予定の大プロジェクト工事の現在の取り組み状況について伺う。</p> <p>②大河津分水路右岸堤防浸透対策事業の進捗状況と用地測量、物件調査等の現地調査の現状と課題点について伺う。</p> <p>③河口部左岸部の山地部を掘削し、現在 180m の川幅を 100 m 拡幅して 280 m とした中での膨大な掘削発生残土約 1,000 万 m³ の残土保管処理と燕市としての河川拡幅に伴う残土利用についてどのように生かしていく考えなのか。また、長岡市と発生残土に対しての関わりについて伺う。</p> <p>④大河津分水路改修事業に伴いスーパー堤防とも言われているがどのような堤防なのか。また、堤防道路の拡幅整備、拡充等や水辺空間に対しての見解を伺う。</p> <p>⑤大河津分水路改修事業に伴う治水・利水・環境等の調和した河川敷地の適正な利活用についての見解を伺う。</p> <p>①今日、固定電話より携帯電話等に移行している感は否めないが、固定電話は最低限以上の資産や支払い能力を持っていると判断されたり、実在する住所に家族、本人確認がとれる要素となりえるが行政を行う燕市にとって固定電話と携帯電話等の捉え方について伺う。</p> <p>②行政・政治風土等、行政運営の違いやそれぞれ歴史・文化等を積み重ねて燕・吉田・分水の旧 3 市町が合併し新燕市が誕生して早 10 周年を迎える。</p> <p>「燕はひとつ」と市政均衡ある発展を願っての地域間や市民相互の一体感の醸成を図ることは非常に大事で意義ある事と思う。</p> <p>しかし、燕市同一市内への電話をかけることに市外局番が必要で市民にとって違和感があり不便であると同時に公共施設等が燕・吉田・分水 3 地域にある中で地方公共団体としての一体性が損なわれるが、市としてどのように捉えているのか。また、今まで解消に向けての動きと今後の方向性について伺う。</p> <p>(次ページへ続く)</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
16	山崎 雅男 (一問一答方式)	3. 生活排水等処理の対応策について	(1) 生活排水対策等の整備をすることについて	<p>③燕市における燕地域と吉田・分水両地域の固定電話が同一市内であっても市外局番が必要となりNTT東日本とは言え三条電報電話局管内の燕地域と巻電報電話局管内の吉田・分水両地域とも市外通話料金が発生するものと思われるが、市としての認識と電話料金区域統一についての必要性について伺う。</p> <p>①大河津分水路から分かれて蒲原平野の西側を貫いて流れ、新潟市内で再び信濃川に合流する長さ44.5kmの一級河川である西川は、農業用水・水道水として利用される大切で重要な役割を担っている河川である。洪水・流入のない河川であり、しっかりとした堤防の大きさから、住民に近い河川でもある。河川の重要性を共有するためにも市街地等の現状把握と雨水・生活排水等処理はどのように対応されているのか。また、生活排水対策等の整備をすることについての問題・課題点はどのような事なのか伺う。</p>
17	吉田 勝利 (一問一答方式)	1. 小学校・中学校・高校の子どもたちのスマートフォン等の使用について	(1) 子どもと保護者・学校等でその利用の仕方を話し合う必要について	<p>①市内の小・中・高生のスマートフォン等の所有率をどのくらいか、把握されているのか。</p> <p>②保護者は子どもたちに買って上げる時、使用上の注意などで話し合いをするように学校としてお願いをしていますか。</p> <p>③スマートフォン等の販売業者の方々に、子どもたちと保護者が来られた時その注意点の説明をよくしていただくようお願いしていますか。</p> <p>④フィルタリングは、保護者の責務であると新潟県青少年健全育成条例で定められていますが、市としてのアドバイスはどのようでしょうか。</p> <p>⑤有害サイトにアクセスしたため架空請求されたという例はあるのか。</p>
		2. 県央基幹病院整備について	(1) 県央基幹病院整備について	<p>①県央基幹病院整備に向け、燕労災病院早期移譲を進めることでその予算として271万円が計上された。平成28年度をめどに移譲を行うことにより燕労災病院の機能は県央基幹病院開院までであるが、アウトラインでは設計計画等で2年、建設で3年の計5年くらいと聞いています。そこで、燕労災病院の跡地の利用について燕市としての有効利用を県に対して強く、素早く提案することが大切であると考えますが、当局の考えをお聞きします。</p> <p>②燕労災病院が無くなることにより、燕市の最東部及び最北部の公共の施設はスポーツランド燕くらいになってしまいます。そこで燕労災病院跡地に公共の施設など利用価値の大きなものとして、市立図書館、透析病院、緑地帯等の整備が考えられるが当局の考えをお聞きします。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
18	宮路敏裕(一問一答方式)	1. 市民の安全・安心確保について	(1) 原発災害に備える施策について	<p>①原子力災害に備えた燕市避難計画(案)では、国等から避難の指示又は要請があったとき、市が避難準備区域の住民の対して避難等の指示を出し、住民は速やかに行動に移すという段取りである。その中で高齢者や障がいのある方への対応について「避難行動要支援者避難支援プラン」に基づき、情報伝達、誘導、搬送を実施することになるが、万全を期す上での、想定される問題点などは無いのか、考えを伺う。</p> <p>②安定ヨウ素剤の配布・服用体制については、今後の県方針をふまえて計画に盛り込むということであるが、安定ヨウ素剤そのものの予備知識を市民が持つことは、県の方針待ちでなくても出来ることであり、その必要性があるのではないかと思うが認識を伺う。</p> <p>③「避難計画」は原子力災害が発生若しくは、その恐れに備えて適切に防護措置を講じるためのものであると、本計画の目的にうたわれている。その備えは原発から30キロ圏で線引きできるものではないと思うが、認識を伺う。</p> <p>④「過酷事故」を想定すれば、大河津分水路左岸の住民だけでなく、全市民に対応した避難行動や安定ヨウ素剤の対応体制などの計画でなければならない。そのためには、県とその点でも協議していく必要があるのではないかと思うが認識を伺う。</p>
		2. 旧燕工業高校の跡地利用について	(1) 「事業者提案制度」のあり方と今後の施策について	<p>①「旧燕工業高校跡地利活用提案事業」は市の財政負担を最小限に抑え、公共目的を最大限達成することを期待し、「事業者提案制度」を導入した経緯があるが、審査委員会の審査の基、市当局としては当初期待した成果が得られないとの判断で、全体計画では事業実施をしないことになった。本事業での「事業者提案制度」導入手法について、今後に生かす教訓など、検証していることを伺う。</p> <p>②審査結果をふまえて、民間活力に資する個別提案については生かす手法を検討するということであるが、どのように生かしていく展望を持っているのか伺う。</p> <p>③跡地利用にあたり公共目的を最大限達成し、市民の利益にかなうような計画にするためには、時間もかけ、さらに周辺住民とも合意形成をはかることが必要ではないかと思うが、認識を伺う。</p>
19	長井由喜雄(一問一答方式)	1. 第6期介護保険計画と総合支援事業について	(1) 第6期施設整備計画中、214床の整備と多床室化について	<p>①第6期計画中の整備介護施設についてはすでに小規模と一体型のグループホーム9床分は増床という形で整備事業者も決まった。しかし、平成28年度中に開設が計画されているグループホーム9床分2ヶ所については応募がゼロだった。介護保険運営協議会の場でも事業所運営委員からコスト面で効率が悪いことが指摘された。建設コストと運営コストについて保険者はどう予測しているのか。</p> <p>グループホームは入居施設であり、市内において地域を分散させるメリットは少ないとも言える。数を合わせて建設を再提案してはどうか。</p> <p>(次ページへ続く)</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
19	長井 由喜雄 (一問一答方式)			<p>②市営緑町団地を地域密着型特別養護老人ホーム(ミニ特)の建設用地として活用することが示された。ミニ特3ヶ所のうち2ヶ所は事業所が土地の確保をすると介護運協でも説明がされているが、緑町団地についてはどのような形で提案するのか。</p> <p>③先の12月議会において多床室の整備を求めたが、「地域密着型特養については市町村の考え方を反映することができ、地域の特性に応じた考え方が反映できる余地はある。」という主旨の答弁があった。利用者および支える家族の生活状況からは何としても確保されなければならないものとする。介護運協でも「負担を少なくする。金額を下げる努力はされているか。」との質問も出されている。市はどのようにこれを具体化しようとするのか。</p>
			(2) 当初予算に盛り込まれた「介護人材確保育成事業」について	<p>①燕市内の事業所における介護職の離職の現状について市はどのように把握されているか。</p> <p>②新潟県が28年度新規重点事業として「介護人材確保推進事業」を示し、73,112万円の予算を盛り込んだ。市は重複事業だとして提案事業を保留するとしているが、県の事業では市町村負担を求めておらず、事業主体を県と養成施設等としている。さらに県は人材確保事業費補助には6メニューで8,063万円しか予算付けをしていない。市は、提案事業を保留することなく、独自事業として介護人材確保に力を注いでいいのではないか。</p>
			(3) 介護予防・日常生活支援事業(新総合事業)に向けた進捗について	<p>①市は「地域包括支援センター機能強化事業」および「介護予防・日常生活支援体制整備事業」で新総合事業に対応するとしているが、新たな「緩和基準サービス」「住民主体サービス」で供給できなければ既存の指定事業所からサービスを提供してもらうことになる。サービス単価によっては要支援の訪問・通所サービス利用者に大きなしわ寄せが及ぶことになるが、進捗と、先行自治体の事例などから教訓として活かせることなどはないか伺う。</p>
		2. 安心して産み育てられる子育て支援について	(1) 子ども医療費助成の拡充について	<p>①市の予算概要では、子どもの医療費助成については「継続事業」として対象年齢を中学生までとしているが、県が発表した県予算ではこの関係事業費の交付金化と総額で2割増というように報道されている。この場合、市はいくら増額されると予想されているのか。またこれにともなって、多子世帯なり全世帯なりに対象拡大を図るべきと思うがいかがか。</p>
			(2) 保育施設の整備について	<p>①保育施設整備については28年度予算内での整備事業が何ヶ園か上げられている。保育施設については、まずは「安全」であり「安心」できる保育環境の提供は、子どもが育っていくうえでとても大事なことであるとする。しかしながら公立保育園においてはまだそれに追いつけない現状にもあるのではないかと。水道町保育園では未満児室の床暖房、午睡室ともなる遊戯室の床暖房も故障し、建物にも大きな亀裂も見られるなど、早急に対応が必要な園もある。子どもの住環境には最低限の保障が必要と思うが対応についてどう考えるか伺う。</p> <p>(次ページへ続く)</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
19	長井由喜雄(一問一答方式)		(3) 非正規職員が多い保育園を中心とした職員の適正配置について	<p>① 公立保育園における非正規保育労働者の数は60.8%と、異常とも言える数字となっている。日常的に必要な保育士が非正規職員という形で雇用し続けているのか。公立保育園における職員の適正配置を考える上で、前提として保育園の適正配置計画についても議論が必要なのか。</p> <p>非正規職員は平均賃金でいくらとなっているか。その賃金で生活が成り立つと考えるのか。同様にこれは市役所で雇用する非正規職員全員にも言えることだ。公立保育園では非正規職員が多いことによって正規職員の年休取得率が実質10%程度となっていることも先の議会においての資料で明らかになった。</p> <p>市は「安心して産み育てられる子育て支援」とよく言うが、現状はそれに値するのだろうか。年齢層が空白に近くなる30代～40代まで拡大した正規職員雇用が必要と思うが考えを伺う。</p>
		3. 公契約条例の制定について	(1) 地域経済の活性化とそこで働く人の生活安定のための「公契約条例」制定について	<p>① 現在全国で16の自治体が「公契約条例」を制定して地域経済の活性化およびそこで働く人たちの生活の安定を図っている。燕市においても条例制定は重要であると考えますが、市の考えを伺う。</p>
		4. 県央大橋西詰周辺整備事業について	(1) 巨額の投資をする整備事業は中止すべきではないか	<p>① 市は第1期整備として「県央大橋西詰周辺整備事業」を進めようとしている。総事業費17億円、年間維持費1.1億円と言われる事業でありながら、市民に十分説明をし、理解を得てすすめる事業と言えるのか。</p> <p>② 4つのゾーンとして提案しながら、主たる提案は観光交流センターだ。駐車場やトイレを含め7億円の費用をかけるとしているが、民間への飲食・物販施設建設が主なものであり、市民の貴重な税金を使ってまで市が提供するものなのか。</p> <p>③ 「道の駅」を目指すとされているが、昨年10月に燕三条地場産業振興センターが道の駅指定を受けている。駐車場の拡大整備の計画も何ら示されない中で、燕三条地場産センターおよび燕市民体育館での催しでの第二の駐車場になるのではないか。</p> <p>④ 「民間の活力」を活かしてなどと言っているが、産業史料館までも管理運営を委託することに対し産業界の理解は得られるのか。</p>

発言 の 順序	発 言 す る 員	質 問 項 目 (大項目)	質 問 要 旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小項目)
20	山崎 光男 (一問一 答方式)	1. 全国に発信すべき地元遺産・燕遺産について	(1) 燕市名誉市民の顕彰について	①燕市名誉市民は現在10人おり、昨年亀倉雄策氏は生誕100周年を迎えたが、来年は没後20年にあたる。また玉川堂は今年創業200周年を迎えるメモリアルイヤーであり、今後続々と生誕100周年を迎える名誉市民がおられるが、これら名誉市民全員の業績を一堂に集めた記念館や偉人館、または既存施設の一角など、常設で観覧出来る場所を作れないか、市の考えを伺う。
		2. 市民に選挙にもっと関心を深めてもらう取り組みについて	(1) 18歳選挙権を受けての未成年者への選挙啓発について	①今年6月23日公示、7月10日投票予定の参議院選挙において、18歳選挙権が初めて適用される見通しである。昨年6月議会でも取り上げたが、その後の進捗状況はどうか伺う。
		3. 東日本大震災から5年、燕市における防災体制について	(1) 燕市民・燕市職員の防災意識と、災害時の行動力の向上について	①燕市では、昨年7月5日に総合防災訓練があり、アメリカ発祥の全国の自治体で導入されている「シェイクアウト訓練」も行われたが、この防災訓練の成果と検証について、また今後の防災力を高めるための取り組みについて伺う。 ②大規模地震が発生したという想定で、燕市役所内では、どのような避難誘導が行われ、市民や職員の安全を確保できるか、一連の流れを伺う。